

関係部署へ
回覧下さい

包装技術講習会

～振動・衝撃試験の基礎と輸送包装規格試験ASTMとISTAの最新情報～

日時	2019年11月13日(水) 13:15～16:30
会場	愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 11階1103会議室 名古屋市中村区名駅4-4-38
参加費	無料(どなたでもご参加いただけます)
その他	会場内録音・撮影禁止とさせていただきます

プログラム

コーディネーター

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤 幹彦 氏
ヤマハ発動機株式会社 生産本部製造技術統括部
組立技術部物流技術グループリーダー 柴田 幸樹 氏

13:15～14:45

「振動・衝撃の基礎と輸送試験の必要性、輸送試験方法の新しい課題」

エミック株式会社 技術顧問 井下 芳雄 氏

包装貨物の輸送振動試験は、ほとんど不規則振動(ランダム振動)に切り替わっています。そのため試験実施の際、規格や試験要求書などの理解や試験実施の諸条件や解析を行う場合などに、基本的な振動理論の知識が必要となります。今回あらためてサインとランダム振動の違い等、基本知識を理解していただける観点で解説します。

また各種の輸送試験規格の特性と最近の国際規格の改正点をご説明して、新たに課題となっている蓄積疲労についてもお話します。

14:45～15:00

<休憩>

15:00～16:30

「輸送包装規格試験ASTMとISTAの最新情報」

日本ビジネスロジスティクス株式会社 包装ソリューション事業部

藤沢事業所 課長 小俣 一典 氏

製品を輸送するための包装仕様が妥当であるかどうかを検証するために、近年、輸送包装規格試験の代表的な国際規格であるISTA規格やASTM規格を適用するユーザー様が増えています。このASTM規格(ASTM D4169, ASTM D7386)やISTA規格による輸送包装試験の実験を数多く実施してきた経験を踏まえて、海外の試験項目や各試験規格の特徴・試験手順など実施事例をもとに最新情報と併せてご紹介いたします。また、日本工業規格(JIS)と比較してどのような違いがあるかという観点からもお話いたします。